



館報 紼 (きずな) 〈令和7年11月号〉

地域の皆さんの「つどう」「まなぶ」「むすぶ」を応援し、人づくりと地域づくりに貢献します！

打田地区公民館
(打田生涯学習センター内)
令和7年11月4日
文責:社会教育指導員
原 寿宏
(電話0736-77-3140)

公民館は、コミュニケーションと出会いの場

秋を感じる暇なく、すっかり冬のような気候となってまいりました。

今月11月1日(土)・2日(日)は文化祭でした。文化祭に関連したとっておきの情報を前月号でお知らせしましたが、皆さん文化祭を楽しんでいただけましたでしょうか？

文化祭の様子は、次号(11月「文化祭特集号」)で詳しくお知らせいたします。

さて、皆さん、公民館ってどんな場所でしょうか？今年開講した、市民の方がやりたいことを叶える「企画実現セミナー」という講座の中で、受講者の皆さんに尋ねたところ、「人とのコミュニケーション・出会いの場」とお答えくださった方がいました。また、願いを込めて、公民館を「人が育ちつながることのできる場」にしたいとお答えくださった方もいました。他方、少しネガティブ(?)な意見としては、「高齢者だけが利用する施設というイメージがする」というお答えもありました。公民館利用の実態からも、平日の午後が最も利用率が高く、したがってその時間帯に利用できる方は、必然的にある程度一線をリタイアされた方ということがになり、その層をターゲットにして、公民館講座を開設しているということがこの傾向に拍車をかけているようにも思います。

この問題は、「卵が先か、鶏が先か」の議論と似ており、その時間帯に講座を開設するからそのような傾向にあるのであり、もし仮に土日や夜間の時間帯に、時代のニーズに即した魅力ある講座を企画すれば、子育て世代や働き世代の方々にも公民館に足を運んでいただけるのではないかと、当公民館では自問自答しています。そうした課題に対して、少しずつでも前進していくこと、現在、若い世代や子供の取り込みに力を注いでいるところです。

今後の打田地区公民館にご期待ください！

♥【公民館通年講座】「目からウロコの雑学講座Season2」♥

今年2年目となる同教室は、県やその他様々な機関等と連携し、環境問題をはじめとするSDGs(持続可能な開発目標)に関連する課題など、日々の生活に役立つ情報を提供しています。今年度は、環境に関連する5テーマと減災に関連する4テーマを中心に全12回で講座を展開しています。

10/9(木)、減災教室④「避難所の運営について考えよう！」と題し、県が開発したボードゲームを通して、意見交換(交流)しつつ、減災について主体的に考えていただきました！



一時保育付き講座「子育てパパ・ママの“まつたり”交流力フェ」の6回目として開催しました。まずは、自己診断チェックシートを記入し、自身が「ストレート」・「ウェーブ」・「ナチュラル」のどのタイプに当てはまるのかを自己診断。その後、講師の方が各自の骨格を触診し、診断。上半身と下半身でタイプの異なる“ミックス”的な方も何人かいらっしゃいました。皆さん、楽しそうに「うん、うん」と納得顔で講師の説明に聞き入っていました。「次回は、レクチャーどおり、自分に似合う服装で来てね」と宿題を出しています(笑)。



「目からウロコの雑学講座」の第9回目として、子供たちに学校給食を提供する「河南学校給食センター」を訪問しました。米や野菜などの食材は地元産にこだわり調達し、毎日、打田・桃山・貴志川地区の学校に3,300食を提供しているとのことです。ちまたの噂として囁かれている「紀の川市の学校給食はおいしい！」を体感するため、試食も行いました。皆さん大変満足していました。また、環境への配慮から、残飯などは一晩でほぼ完全に分解してしまう設備も備わっているとのことです。



例年、夏休みに子供たちを対象に様々な体験教室を開催しています。今年も「とっておきの写真教室」に参加した子供たちが、文化祭に出展しました。(展示は10月中から行っていました)



打田地域の寺社など、名所を巡るフィールドワークを取り入れつつ開催しています。フィールドワークでは、「文化財サポーター」(市生涯学習課の呼びかけに応じて平成23年度に発足)の皆さんのが協力ください、詳しく説明していただいている。

